

# ウイルス性胃腸炎

## 症状

- ・突然の嘔吐、水のような下痢(薄い黄色から白色)がみられます。
- ・ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど、原因が検査で分かることもありますが、いずれも治療は同様です。
- ・ロタウイルスは乳児期にワクチンを接種することで予防ができます。

## 治療

- ・下痢が問題ではなく、脱水を防ぐことが肝要です。
- ・下痢や嘔吐で失われた塩分と水分を少しずつ与えるイメージで、スプーンなどで根気よくあたえます。
- ・オーエスワン® アクアライト®OSRなどの経口補水液で水分補給ができれば、その後は、乳児では、母乳や人工乳、離乳後の幼児であれば、おかゆなどの炭水化物からはじめ、下痢であっても、できるだけ絶食期間を短くするようにします。

## 家庭で注意すること

- ・吐物が付着したり、汚物の処理による接触感染です。手洗いや吐物汚物の処理が重要です。

## 登園・登校のめやす

- ・嘔吐がないこと。下痢の回数もおさまり、通常の食事がとれるようになれば可能です。

## 急患診療センターを受診するめやす

- ・吐き続け、口から何も飲めない時。
- ・顔色が青ざめ、元気がない時。
- ・おしっこもせず、爪を圧迫して戻しても、白からピンクにならない時。

## 救急車を呼ぶめやす

- ・下痢に伴ってけいれんが見られたら救急車を呼んでください。